

知財人財育成プラン(案) 概要

資料 1

知的財産戦略推進事務局

- グローバル競争が激化する中で、求められるイノベーションシステムが変化し、競争力強化のために国際標準や知的財産を戦略的に活用できる人財（知財マネジメント人財）や、世界を舞台に活躍できる知財人財（グローバル知財人財）が求められている。
- 「知的財産推進計画2011」に知財人財育成プランの確立が盛り込まれたことを受け、昨年8月に、知財人財育成プラン検討ワーキンググループを設置して検討を開始し、本年1月に報告書を取りまとめ。

我が国の優れた技術力・デザイン力・ブランド力が、必ずしもグローバルな競争力に結び付いていない。



我が国のイノベーションシステムが、研究開発成果を事後的に特許権化する「技術起点型サイクル」から、事業戦略を起点とした「事業起点型サイクル」へ重点化し、両サイクルの使い分けや組合せといった戦略的活用が不可欠。



グローバル化に対応し、事業と一体化した総合的な知財マネジメントができる知財人財の育成・確保が急務。



10年先を見据えた「知財人財育成プラン」の策定

グローバル化に対応し、事業戦略性を有する知財人財の育成・確保

戦略的な知財活用による国際競争力強化

○求められるイノベーションシステムが変化

技術起点型サイクル

技術戦略を主軸



事業起点型サイクル

事業戦略を主軸



両サイクルの使い分けや組合せといった戦略的活用が不可欠

主要施策

- ① 知財マネジメント戦略拠点を整備し、国内外の最新の事業戦略及び知財関連を蓄積・分析し、我が国企業にいち早く提供。
- ② 知財マネジメント戦略拠点と連携し、事業戦略的な知財マネジメント人財を養成するための場を形成し、企業の事業戦略を支える知財人財を育成。
- ③ グローバル化に対応し、企業の事業活動にも資する知財専門人財（審査官・弁理士）を育成し、企業をサポート。

① 知財マネジメント戦略研究拠点の整備

国内外の最新の事業戦略・知財情報を分析し、我が国企業に提供しつつ、知財人財を育成。



『知財マネジメント戦略研究所(仮称)』

② 事業戦略的な知財マネジメント人財を養成するための場の形成

イノベーションを創成する優れた事業戦略性を有する知財マネジメント人財の育成・確保に向けた場の形成。



『ビジネス戦略知財アカデミー(仮称)』

国内外の最新の事業戦略・知財戦略に関する知識・教材

産学連携機関・大学知財研究者といった
様々な関係者の協力・関与

最新の事業戦略の提供
産業
事業戦略を支える知財人財

研究者の派遣

幹部候補生の派遣

審査官

弁理士

企業の事業戦略をサポート

英語を中心とした多言語に対応できる能力を備えた特許審査官を育成。

グローバル化への対応及び中堅・中小企業へのサービスの拡充に向けた弁理士の研修機会を拡大。

③ グローバル化に対応及び企業の事業活動に資する審査官・弁理士の育成